

白河っ子小学校入学祝金支給事業 新規

2,510万円

子どもの小学校入学を祝うと共に、入学時における保護者の経済的負担を軽減するため、5万円の入学祝金を支給する。



白河っ子家事・育児サポート事業 新規

561万円

家事・育児等で不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を支援員が訪問し、不安や悩みを聴きながら支援する。



給食費負担軽減事業 継続

3,000万円

物価高騰の中、これまで通りの給食を提供するため、保護者に更なる負担を求めないよう、給食の材料費高騰分を市が負担する。



白河の未来型農業研究事業 新規

278万円

本市の特性に適したスマート農業を推進するため、モデルケースとなる経営体の協力を得ながら、実証・実装に向けた調査を行う。



白河駅前ロータリーリノベーション事業 新規

2,000万円

白河駅前ロータリーの利便性を高め、賑わいを創出するため、駐車スペースや案内板のリニューアル等、しらかわ観光ステーションと一体的に整備する。



ゼロカーボンドライブ推進事業 新規

220万円

走行時にCO₂を排出しない次世代自動車の購入にあたり補助金を交付する。電気自動車（上限5万）、燃料電池車（一律20万）



良縁めぐりあわせ応援事業 新規

922万円

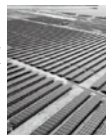
結婚相談やイベントの開催など、結婚に向けた伴走型の支援を行う。成婚サポート者への報償の他、県マッチングアプリへの登録料を補助する。



公共施設脱炭素化事業 新規

1億4,275万円

温室効果ガスの削減のため、公共施設へのLED照明導入と自家消費型太陽光発電や蓄電池を設置し、企業や一般家庭への普及を促す。



質疑とは、議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めるもの。提案された議案に関係することしか質問できません。3月定例会では、一般質問（P12~17）と分けて行っています。

3月議会定例会 総括質疑



須藤 博之 議員

Q ICT活用行政スマート化事業(7,552千円)のシステムと活用範囲について

A オンライン相談システムは、自分のパソコンやスマートフォンから日時を予約し、来庁せずに行政相談や申請手続きのサポートが受けられるシステムで、介護や妊娠・出産、子育て、移住、定住などの窓口相談業務に活用できる。

Q 街なか公園整備事業(11,300千円)の目的と進め方について

A 白河駅周辺の街なかにおいて、住環境の向上による居住誘導を図るため、子どもの遊び場やオープンスペースを、既存公園や低未利用地に整備するもので、町内会や地域の方々を交えたワークショップを開催し、誰もが一緒に、安全に楽しく遊べるよう検討する。

Q 関の森公園リニューアル事業(3,156千円)について

A 課題解消のため、8つのゾーンに設定し、特性をもっと生かし、土産品の開発や宿泊施設や園路内の整備など、実施計画では、本地域が持つ里山の魅力を十分に生かした地域が誇れる公園にする。



深谷 弘 議員

ひきこもり自立支援事業(8,834千円)

Q 市においては令和2年度から開始されている。予算のほとんどは委託料であるが、どんな事業なのか。

A 施設等運営事業委託料は、ひきこもり相談の総合窓口として、「ひこもり相談支援センターつなぐ」の設置運営を社会福祉法人優樹福祉会に委託、2名の相談員が本人や家族からの相談支援を実施している。

Q 若者居場所づくり事業とはどんな事業なのか。

A 令和元年度から15~39歳のひきこもりがちな若者の居場所として「ユースプレイス県南」の設置を東西しらかわに加え鏡石町、石川町、古殿町の12市町村共同で「アネシス学院」に委託、週3回、個別相談やコミュニケーション訓練などを通し就労や就学など社会的な自立に向けた支援をしている。

Q 就職氷河期世代ひきこもり推進事業とはどんな事業なのか。

A 36~51歳のひきこもり対策としてSNS相談やオンライン居場所づくり、家庭への訪問支援などを実施している。

賛成か反対か

議案に対し賛成か反対か、自ら意見を表明し、その理由等を述べるのが討論です。



01 討論の対象議案

○議案第17号令和5年度白河市一般会計予算



02 常任委員会の採決

各常任委員会に付託され審議した結果、議案第17号を原案のとおり可決することについて
→全会一致もしくは賛成多数で可決



03 本会議の討論

賛成

議案第17号に対する討論

反対



大木 絵理 議員

歳出ではコロナ禍の影響もあり、市内企業の業績が伸び悩み、法人市民税の減少を見込む一方、個人市民税や固定資産税は堅調な伸びを示しており、市税収入は予算額で過去最高を見込んでいる。また、地方交付税なども適切に見込んでいる。

歳出では物価高騰による経常経費の大幅な増額にも対応しつつ、「私らしく、あなたらしく～身近な幸せが実感できるまちづくり～」をテーマとして、6つの重点推進プロジェクトへ優先的に予算配分がなされている。

現下の社会・経済情勢や物価高騰に直面する行政課題に柔軟かつ的確に対応した予算であると認識している。

深谷 弘 議員

基本的には評価できる予算である。しかし、限られた財源のなかで、どのような基準(モノサシ)で「事業の選別」を行うのかの質問に「歳入を適切に見積もったうえで、事業の必要性や効果、緊急性、他の事業との関係性、将来の財政負担、重点施策の位置づけなど様々な角度から検証し、優先度を決めている」との可もなく不可もない「官僚答弁」。

具体的に「小中学校の給食費無償化」の問題で、自治体間に実施状況のばらつきがあることを指摘。その理由についても「他の自治体においても域の実状を踏まえ、様々な議論を行っていると思う」との答弁で議論がかみ合わない。

結論的に言えば、首長の判断・やる気が決定的であることは間違いない。今の市の財政状況で、学校給食費無償化は実現可能ある。

令和4年度末の財調・減債・公共施設等積立金は約85億円に達する見込みであり、80億円を超える水準が維持されている。これらの財源を使い市民の願いに応えるべきである。

04 本会議の採決

議案17号を原案のとおり可決することについて

賛成22人 反対1人により賛成多数で



議案名	大木 絵理	吉見 優一郎	鈴木 裕哉	高島 裕	戸倉 宏一	荒井 寿夫	根本 建一	室井 伸一	緑川 慎生	柴原 隆夫	菅原 修一	北野 唯道	水野 谷正則	佐川 京子	藤田 文夫	大花 務	縄田 角郎	石名 国光	高橋 光雄	大竹 功一	山口 耕治	須藤 博之	深谷 弘
議案第17号 令和5年度白河市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

私らしく、あなたらしく ～身近な幸せが実感できるまちづくり～